

## 取扱説明書

**EHEIM**  
classicVARIO+<sup>e</sup>

# エーハイムクラシック VARIO+e 2214

### 目次

- 2~3 ー安全にお使いいただくために
- 4 ー本製品のご利用について
- 5 ー無線LANに関するご注意
- 6 ー製品仕様  
各種電子制御機能について
- 7 ーパッケージの中をご確認ください  
設置場所について
- 8~11 ーセットの手順
- 12~13 ー無線LANとデバイスの接続について
- 14 ー日常の点検、手入れ
- 15 ーアクセサリ表
- 16~17 ー主要部品図
- 18~19 ー故障かな?と思ったら



安心の  
**2年間**  
保証付



このたびは、エーハイムクラシックVARIO+e 2214をお買い上げいただきありがとうございます。

- 本製品は梱包など万全を期していますが、ご使用になる前に必ず破損やパーツ不足など異常がないかを確認してください。破損などが見つかった場合はそのまま使用せずにお買い上げ店にお申し出ください。
  - 本製品には保証書がついています。保証書は必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかを確認の上、大切に保管してください。
  - 正しくお使いいただくために、本取扱説明書をよく読み、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は保管し、必要な時にお読みください。
- ※イラストなど、実物と異なる場合がありますが、使用方法をご理解いただくうえで問題はございません。あらかじめご了承ください。

本製品は観賞魚用品です。他の目的では使用しないでください。誤った使用方法や本来の目的以外の使用、勝手な改造、修繕などによる故障、その他の影響などにつきましては一切補償いたしかねます。

本製品は、内蔵の無線LANとご家庭の無線LAN (Wi-Fi) を接続して操作します(※)。以下無線LAN規格に対応したデバイス(スマートフォン、タブレット、PC等) およびご家庭の無線LAN (Wi-Fi) 環境をご用意ください。

・無線LAN規格:IEEE802.11b/g/n・送受信周波数:2.4GHz (5GHz帯ではご使用いただけません)

※ご家庭の無線LAN(Wi-Fi)と接続せずにご使用いただくことも可能ですが、端末操作および機能が制限されます。

※ Wi-Fiスポット、公衆無線LANサービス、一部のポケットWi-Fiなど、機器間の通信ができない環境では操作がおこなえません。

日本総代理店

**神畑養魚株式会社**

用品部 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中3-3-20

【製品に関するお問い合わせ】

Tel. 079-297-5420 Fax. 079-293-6467

ホームページ <https://www.kamihata.co.jp>

エーハイム製品専用ページ <https://www.eheim.jp>

※この製品は改良のため、予告なく仕様・デザインを変更することがあります。予めご了承ください。

# 安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために警告・注意などをよく読み、よく理解してからご使用ください。間違った使い方は、人や生体への影響、器具類の故障、感電、火災などの重大な事故の原因となりますので、絶対に避けてください。

## 警告

正しい電源電圧(AC100V)および周波数(50/60Hz)以外での電源使用はしないでください。	生体の出し入れ、掃除、点検、移動などのために水槽内部に手を入れる時は、必ずすべての電源を抜いてください。 (感電のおそれあり)
水漏れ、破損、ポンプの故障の際は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出たり、異臭がしたら、直ちに電源プラグを抜いてください。	湯気など湿気の多すぎるところ、ホコリの多い場所では使用しないでください。 (感電、発火、故障のおそれあり)
本製品の電源のON/OFFは必ず電源プラグの抜き差しをおこなってください。また、電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。(本体故障のおそれあり)	引火性のもの(ガソリン、シンナーなど)の近くで使用しないでください。
電源プラグの刃やコンセントの汚れは、定期的に取り除いてください。 (発火のおそれあり)	電源コードは必ずループ状にたわませて設置してください。万一本体から漏水が発生した際、電源コードからコンセントに水が伝わって漏電する事故を予防することができます。 (漏電・感電のおそれあり)
電源コードに水が伝わってしまった場合は、電源プラグを抜かず、直ちに元電源のブレーカーを遮断したあと、電源プラグを抜いて、状況を確認してください。(感電のおそれあり)	水を吸っていない(呼び水をおこなっていない)状態で空運転をおこなわないでください。 (故障、発火のおそれあり)
本体を落としたり、ぶつけたりして傷をつけないでください。 (感電、発火、故障のおそれあり)	使用しないときは電源プラグを必ず抜いてください。 (故障、発火のおそれあり)
通電前に、本体、配管から水漏れがないか必ず確認してください。	電源アダプターは防水仕様ではありません。絶対に濡らしたり、濡れた手で触らないでください。濡らした場合は再使用しないでください。

## 注意

本製品は日本仕様として製造されています。国内でのみお使いください。	屋内専用です。屋外では使用しないでください。
本製品は、無線LANを経由して操作します。無線LANに対応したデバイス(スマートフォン、PC、タブレット等)を用意してください。	

本製品のご使用時における生体の病気などの補償はいたしかねます。予めご了承ください。	電源コードにつまづいたり、引っ掛けてしまわないよう取り付け、取り回しにご注意ください。
電源コードは経年劣化により硬化してひび割れを起こすことがあります。定期的に点検をおこなってください。(感電、発火のおそれあり)	本体内にゴミや砂利などの異物が入った状態では使用しないでください。
電源プラグは、コンセント口の奥まできちんと差し込んでください。コンセントの容量を超えたタコ足配線やテーブルタップ(延長コード)の使用はおこなわないでください。(発火のおそれあり)	本製品は水槽よりも低くなる位置で、フィルター本体の底と水槽水面との高低差が最大150cm以内になる安定した場所に設置してください。
気泡を含んだ水を本体に通さないでください。インペラーユニットなどの劣化を早める原因となります。	本製品を電子機器、精密機器、楽器など、水分、塩気を嫌う製品のそばに設置しないでください。(これらの製品が故障するおそれがあります)
小さなお子様に操作させたり、さわったりさせないでください。 (水漏れ、故障、感電のおそれあり)	作動中のインペラーには触らないでください。 (ケガ、故障のおそれあり)
本製品は磁界および電波を発生させるため、磁気媒体をはじめとした磁気の影響を受ける機器は近づけないでください。また、ペースメーカーをはじめとする磁気および電波の影響を受ける可能性のある医療機器や精密機器をご使用の場合は、それらの機器類の取り扱い説明書に記された安全距離を必ず保つようにしてください。	電源アダプターは水がかかからない場所に設置してください。
弱った魚や稚魚・小型魚が水槽のガラス壁とパイプ等の間に挟まれたり、ストレーナー一部から吸い込まれる場合があります。予めご注意ください。	電源アダプターは風通しの良い床面に設置し、布などをかぶせたり、物を置いたりしないでください。電源アダプターの放熱を妨げる設置は行わないでください。
1日に1度は正常に作動しているか確認してください。異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、生体の安全の為に適切な処置をおこなってください。	電源アダプターのDCプラグの抜き差しによる電源のON/OFFは行わないで下さい。故障の原因となります。
各部に使用されているOリングは、いずれも経年劣化しますので、劣化が認められたら交換してください。Oリングが劣化したまま使用し続けると、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	定期的に各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いでください。本製品は水冷式モーターですので、汚れや目詰まりなどは大敵です。特にモーター内部駆動部分の掃除や取り付けスポンジ類の掃除は忘れがちですので本書に従って定期的の実施してください。
電源コードを傷めないでください。曲げすぎない、引っ張らない、重量をかけない、たばねない、加工しないなど。 (感電、発火の可能性あり)	各種パッド類やろ材はエーハイムの専用品をお使いください。またろ材は入れすぎないでください。流量低下・異音の原因となります。

## その他のご注意・お願い

- 本製品は梱包など万全を期しておりますが、ご使用になる前に必ず破損など異常がないかをチェックしてください。破損などが見つかった場合はそのままご使用せずにお買い上げ店にお申し出ください。
- 適合水槽は魚の数、環境によって異なります。海水魚、大型魚などを飼育する場合は、他フィルターの併用や匹数の調整をおこなってください。
- お手入れの際は、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。製品の品質劣化、生体への悪影響の恐れがあります。ぬるま湯に浸した布や、柔らかいブラシを使用してください。
- 他の人に譲渡される場合は、必ず、この取扱説明書と、保証書も一緒にお渡しください。
- フィルターの目詰まり、故障に備えて、エアポンプによるエアレーションの併用、または補助フィルターを併用してください。
- 設置場所によってはクッションラバーの跡が残る場合がありますのでご注意ください。
- 本製品は、改良のため予告なく仕様・デザインを変更することがあります。予めご了承願います。

## 本製品のご利用について

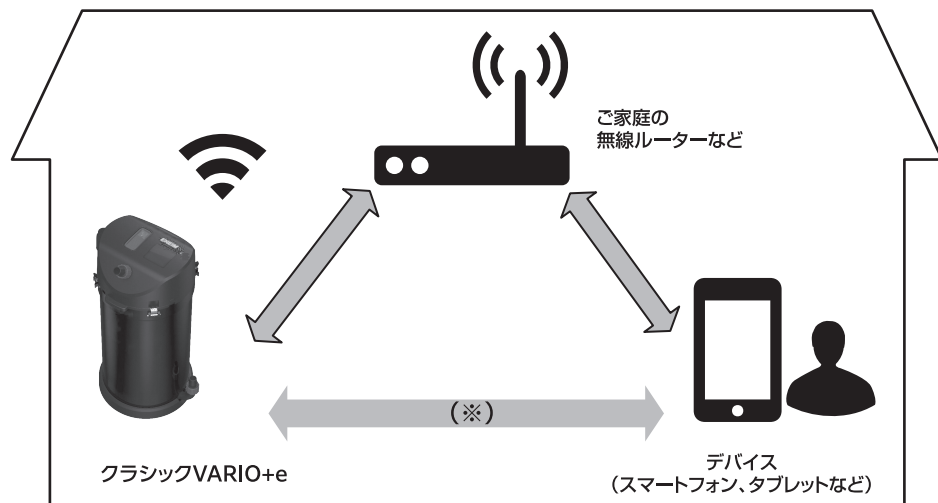
本製品は、内蔵の無線LANとご家庭の無線LAN (Wi-Fi) を接続して操作します(※)。無線LAN規格に対応したデバイス(スマートフォン、タブレット、PC等)およびご家庭の無線LAN (Wi-Fi) 環境をご用意ください。

※インターネット(ご家庭の無線LAN (Wi-Fi))と接続せずにご使用いただくことも可能ですが、端末操作および機能が制限されるため、おすすめいたしません。

※本製品とインターネットとの接続は無線LAN (Wi-Fi) に限ります。有線LANによる接続はできません。

※Wi-Fiスポット、公衆無線LANサービス、一部のポケットWi-Fiなど、機器間の通信ができない環境では操作がおこなえません。

※全てのユーザー様環境における性能・動作の保証はいたしかねます。



無線LAN対応規格	IEEE802.11b/g/n
送信電力	≤ 20dBm
送受信周波数	2.4GHz (チャンネル 1-11 / 2412 MHz - 2462 MHz) (5GHz帯ではご使用いただけません)

### ソフトウェアパラメーター

アクセスモード	station/softAP/SoftAP+station
セキュリティ	WPA, WPA2, WPA/WPA2

※Wi-Fi, WPA, WPA2はWi-Fi Allianceの商標登録または商標です。  
 ※BluetoothはBluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。  
 ※その他本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または商標登録です。

## 無線LANに関するご注意

●本製品のモーターヘッド部は絶対に分解・改造しないでください。  
 改造した機器を使用した場合は電波法に違反します。

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規制を遵守しております。本製品内部の分解・改造をおこなった場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に違反します。故障の際は弊社カスタマーサポートに修理をご依頼ください。

●本製品は無線によるデータ通信を行う装置です。本製品の不具合、誤動作、または停電、回線障害、その他の外部要因によって通信障害が発生したために生じた損害等については、弊社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本説明書は、無線LAN対応デバイス(スマートフォン、タブレット、PC)の基本操作ができる前提での説明となりますのでご了承ください。  
 また、デバイスの操作や接続環境に関するご質問やお問い合わせについてはお答えできかねますのでご理解ください。

●本製品を含むイーハイムのWi-Fi製品を複数台接続する場合は、それぞれの機器の距離はおおよそ10m以内の範囲でご使用ください。機器同士が遠すぎたり、電波を通しにくい環境では複数台の接続が難しい場合があります。

●本製品が金属物で囲まれていたり、デバイスとの間に金属や鉄筋コンクリートなど電波を通しにくい物がある場合は、電波のノイズを受けたり到達距離が短くなるなどで通信できないことがあります。

●本製品は、心臓ペースメーカーの装着部位から20cm以上離して使用してください。  
 本体からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

●本製品は下記の機器などからの電波の影響を受けることがあります。できるだけ離してご使用ください。  
 ・加熱調理中の電子レンジ ・ワイヤレスAV機器(テレビ・ステレオ・PCなど) ・アマチュア無線局  
 ・ゲーム機のワイヤレスコントローラー ・Bluetooth対応機器 など

●無線LANは電波を使ってデータを送受信するため、不正アクセスを受ける恐れがあります。  
 無線LANのご使用にあたってはその危険性を十分にご理解いただきたいうえで、データの安全性を確保するためセキュリティ設定を行ってください。

●本製品の修理を依頼する際は、すべての設定を初期化(工場出荷時の状態にリセット)し、Wi-Fi接続設定やメールアドレス登録を消去してください。  
 故障の状態により、操作が困難な場合は弊社カスタマーサポートまでご相談ください。

➡ 無線LAN接続の方法については、p 12-13をご確認ください。

## 製品仕様

機種	エーハイムクラシックvario+e 2214
エーハイムコード	2214330
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz共通
定格消費電力	1.7~9.8W
ポンプ性能(※)	~510ℓ/h(理論値)
最大揚程	1.8m
ホース径	吸・排水共にφ12/16mm
ろ過槽容量	約3.5ℓ
ろ材容量	約3.0ℓ(ろ材コンテナ1個)
付属ろ材	活性炭フィルターパッド1枚、細目フィルターパッド1枚、粗目フィルターパッド5枚
本体寸法	約170×355mm
適合水槽(目安)	45~75cm水槽(約40~114ℓ)
適用	淡水・海水両用、屋内専用

※ポンプ性能とは、モーター部分を単独運転させたときの理論上の最大流量を示します。使用環境により実際の流量とは異なります。

## 各種電子制御機能について

以下の電子制御機能は、無線LAN経由でのソフトウェア操作を必要とします。無線LANに対応したデバイス(スマートフォン、PC、タブレット等)を用意してください。

<p><b>Bio mode - With Day &amp; Night control</b>  <b>バイオモード(昼&amp;夜コントロール)</b>          昼間と夜間で流量を変更し、飼育されている魚や生き物に合わせた水流を調整することができます。</p>
<p><b>Pulse mode - Flow function</b>  <b>パルスモード(ストリームファンクション)</b>          一定の間隔で、流量の強/弱を繰り返す機能で、生き物が息する自然環境を模した水流を再現することができます。強/弱それぞれの流量と持続時間を設定でき、セットすると自動的に運転します。</p>
<p><b>Manual mode - Without automatic control</b>  <b>マニュアルモード(自動コントロール無)</b>          電子制御機能を行わない設定です。インペラーの回転数の設定により流量を調整することが可能です。</p>

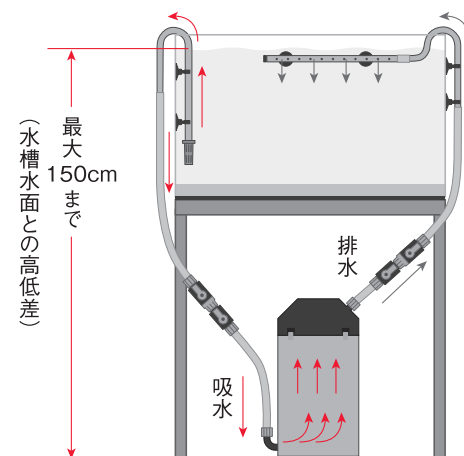
※サブフィルター、クーラー、プレフィルター、ディフューザーのような吸排水ホース・パイプに接続する器具と接続した場合、配管抵抗によりエラー表示を起す場合があります。マニュアルモードもしくは別系統のフィルター/ポンプでの使用をおすすめします。

## パッケージの中をご確認ください。



※フィルターの各部品を点検してください。特に破損したり紛失したりしやすいシャワーパイプの止水栓、吸水パイプにつけるストレーナーなどの取り扱いには十分気を付けてください。

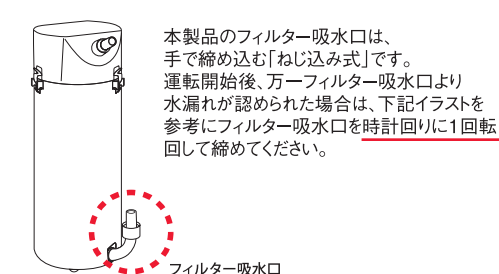
## 設置場所について



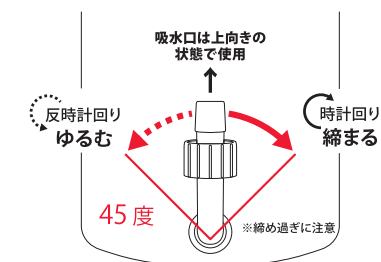
本製品はサイフォンの原理を利用して飼育水を循環させます。  
**本製品は、水槽より下に設置してください。**

※水槽水面との高低差最大150cmまで。  
 ※呼び水を確認するため、水位は水槽上フチから10cm以内。

## 吸水口の増し締めについて



●固いと感じたら、無理に動かさず、反時計回りに戻してください。フィルターケースの破損につながります。

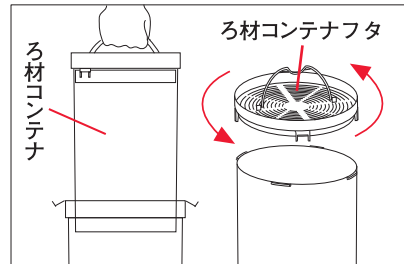
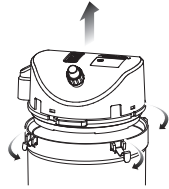


吸水口の向きは、上を向いた状態から左右45度の範囲で使用してください。

# セットの手順

## 1 モーターヘッドの取り外し

4ヶ所のフックをはずし、モーターヘッドをゆっくりと持ち上げてはずします。



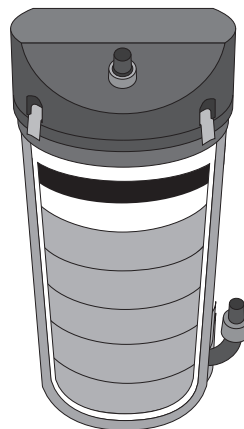
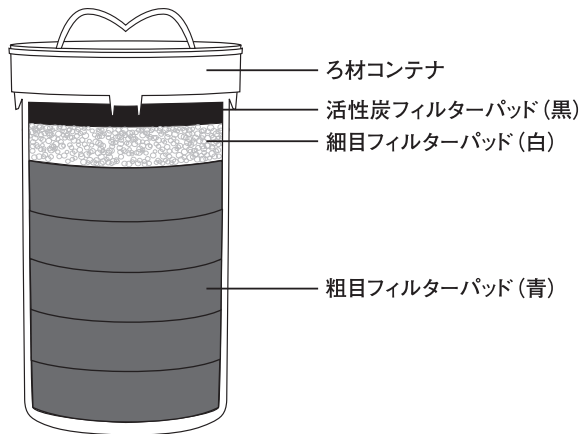
## 2 ろ材の洗浄/セット部分

フィルターケースよりろ材コンテナを取り出し、ろ材コンテナの蓋を反時計回りに回して取り外し、コンテナ内のろ材を取り出します。(右上図)

取り出したろ材を流水で洗い左下図のようにろ材をセットします。

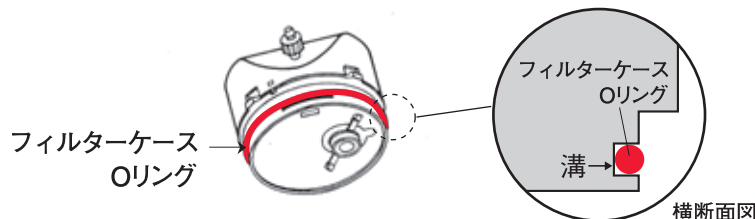
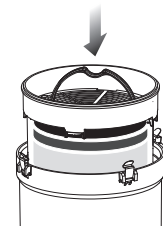
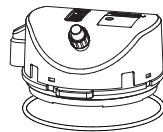
右下図のようにろ材コンテナの蓋を時計回りに回して取付け、フィルターケースに戻します。

新しく水槽をセットした場合、2週間後に活性炭フィルターパッドは破棄または新しいものと交換してください。



## 3 モーターヘッドのセット

フィルターケースOリングがモーターヘッドの溝に正しくセットされているか確かめてからモーターヘッドを両手で持ち、フィルターケースに上から押し込むように取り付け、フック(4ヶ所)で固定します。(1と反対の作業)

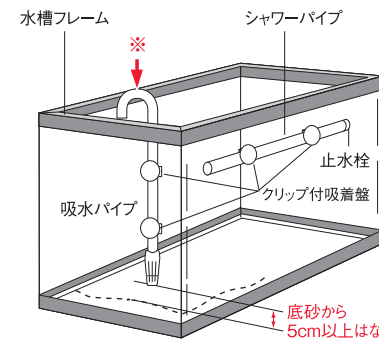


8

## 4 吸水パイプ、シャワーパイプのセット

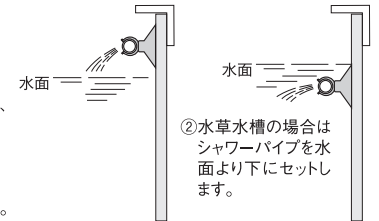
吸水パイプ、シャワーパイプをクリップ付吸着盤で水槽に取り付けます。エーハイム油膜取りなどのアクセサリーを使用する場合も説明書に基づき設置します。

シャワーパイプは、水槽の大きさや魚の種類に応じて取り付け位置を決めてください。その際、シャワーパイプの先端に止水栓をつけてください。



### シャワーパイプの位置

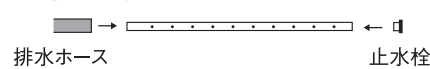
①魚が酸欠状態を示す場合は、パイプを水面上に出し、シャワーの状態を使って下さい。別売りのディフューザーにより酸素を補給するのにも特に海水魚、大型魚の場合効果的です。



※吸水パイプは水槽上フチにしっかりとかかるように設置してください。パイプが長すぎる場合は、適当な長さにカットしてください。(けがに注意) 水槽フレーム等で吸水パイプが傾いてしまう場合、別売のアーム(4004560)を使用してください。(フレーム幅約40mmまで対応) また水槽フレームの幅が約40mm以上でセットできない場合、左図の矢印部分をカットしてホースを接続してください。

### 止水栓の取り付け

シャワーパイプの一方に止水栓を取り付けます。もう一方へは適当な長さにカットした排水ホースを取り付けます。



### 吸着盤とクリップの取り付け

イラストのように、クリップはしっかりと吸着盤に取り付けて使用してください。

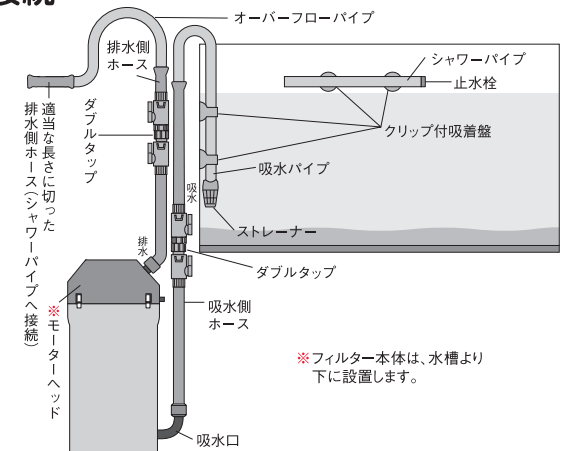


## 5 フィルター本体とダブルタップ(吸・排水側)、吸水パイプ、オーバーフローパイプの接続

フィルター本体とダブルタップ(吸・排水側)、吸水パイプ、オーバーフローパイプを付属のホースでしっかりと接続します。

この際ホースの長さは水槽に合わせて調節し、切口はきれいに切り揃えてください。

- 排水側ホースはオーバーフローパイプが水槽の縁を越えてシャワーパイプと接続出来る様に長さを決めてください。
- パッケージから取り出したホースに折り目がついている場合、折り目のついた部分を熱湯につけて矯正してください。
- この時点では、オーバーフローパイプとシャワーパイプは接続しないでください。



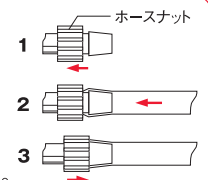
※フィルター本体は、水槽より下に設置します。

### ダブルタップ / 吸・排水口とホースの接続

△注意1 吸・排水口のホースナットをしっかりと締めてください。吸・排水口のホースナットによる、ホース装着にご注意ください。

1. 吸・排水口のホースナットを時計回りにまわし、根元まで戻します。
2. ホースを吸・排水口にさし込みます。
3. 吸・排水口のホースナットを反時計回りにまわしながら矢印の方向へ開めます。

△注意2 吸水口を締めすぎるとフィルターケースが割れることがあります。ご注意ください。



9

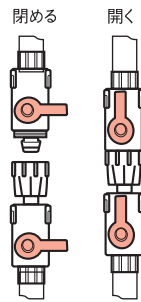
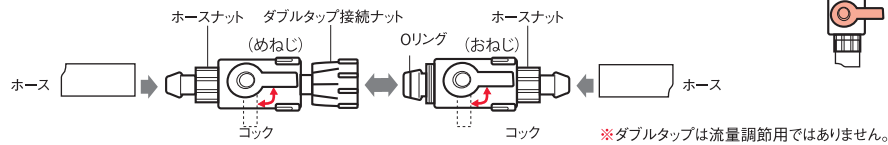
## ダブルタップの使用法

ダブルタップ接続ナットをまわして分離します。

両端にホースを接続し、ホースナットでしっかり締めます。取り付け方法はP9の **△注意1** を参照してください。

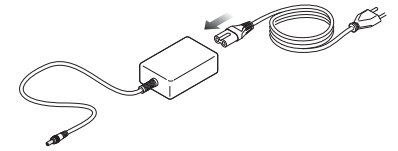
おねじのダブルタップの先端にOリングが付いていることを確認してください。

ダブルタップのおねじをめねじに入れて、ダブルタップ接続ナットをまわし、しっかり締めてください。接続が完了したら、呼び水にそなえてコックをまわして開けてください。



## 8 電源アダプターの接続

※必ず呼び水をおこない、フィルターケースおよびインペラ室内が水に満たされた状態(◆(5)の状態)で電源を入れてください。  
 ※電源アダプターのDCプラグをモーターヘッドに接続したのち、最後に電源プラグをコンセントに差ししてください。



- 1) 電源アダプターに電源コードを接続します。
- 2) 呼び水をおこない、◆(5)の状態にいることを確認し、電源アダプターのDCプラグをモーターヘッドに差し込みます。この時点では**絶対に電源プラグをコンセントに差し込まないでください。**
- 3) 最後に電源プラグをコンセント(100V)に差し込み、運転を開始させます。水が循環し、インジケーターLEDが点灯していることを確認してください。

フィルター内部やインペラ部分に空気が残っていると、「シャーシャー」、「カチカチ」という音がします。フィルター本体を軽く揺らすと、徐々に空気が抜けていきます。  
 各接続部(左下◆赤矢印部)から水が漏れていないか確認してください。アクセサリを接続している場合も水漏れがないか確認してください。

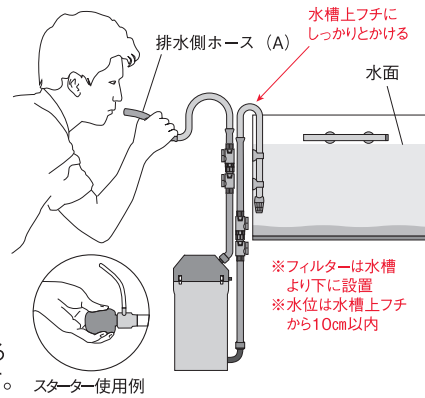
呼び水をおこないフィルターを起動させたのち、無線LANを接続し、流量調節などの各種設定をおこなってください。

## 6 呼び水 **【重要】呼び水前にフィルターケースに水を入れな**いでください

シャワーパイプに接続するオーバーフローパイプに取り付けた排水側ホース(A)から空気を吸い、吸水パイプを通して水をフィルターケース内へ呼び込みます。別売のスター(4003540)を使用すると簡単に水を呼び込みます。

- (1) 本体が水槽より低いことを確認。
- (2) ダブルタップのコックが開かれていることを確認。
- (3) 本体の中に水が入っていないことを確認し、排水ホース(A)から口またはスターで空気を吸い、吸水パイプ内の水を吸い上げます。
- (4) 吸水パイプ内の水が水槽の上フチを越え、サイフォンの原理により呼び水が開始されます。※飼育水が落下し始めるのを確認したらオーバーフローパイプを水槽上フチにかけます。
- (5) 落下した飼育水がフィルターケース内を満たし、排水ホースまたはオーバーフローパイプ内の水位が水槽内の水位と同じ位置まで上昇している状態が呼び水の完了です。

**注意：呼び水が完了する前に電源を入れな**いでください。

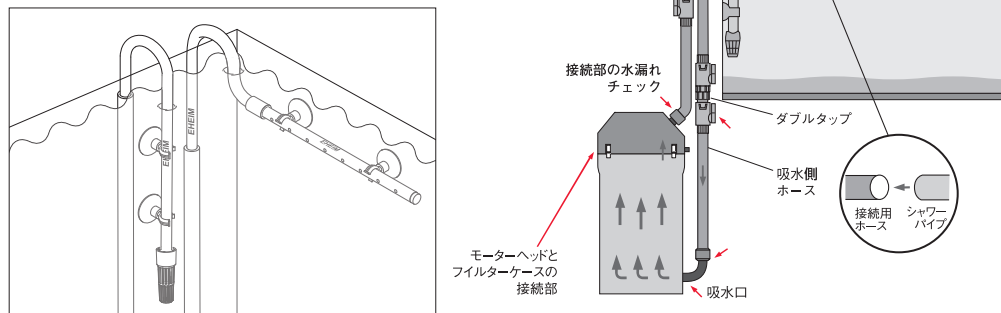


## 9 モーターの始動と確認

本製品は、輸送中の揺れや、衝撃などにより、部品などにずれや破損が生じることがあります。  
**運転開始30～60分後、フィルターが正常に運転しているか水がもれていないかを確認してください。**  
 また、留守にする前に**セットしな**いでください。  
 シャワーパイプからの水流が強すぎる場合、止水栓をはずすと弱い水流となります。  
 ろ材やフィルターパッドが新しいうちやメンテナンス後は、モーター部の下に空気がたまるありますが、異常ではありません。

## 7 シャワーパイプとの接続

排水側ホース(A)をシャワーパイプに接続します(右図参照)。



## 無線LANとデバイスの接続について

本製品は、内蔵の無線LANとご家庭の無線LAN(Wi-Fi)を接続して操作します(※)。無線LAN規格に対応したデバイス(スマートフォン、タブレット、PC等)およびご家庭の無線LAN(Wi-Fi)環境をご用意ください。ソフトウェアのアップデート等により、内容が変更される場合があります。詳しくは<https://www.eheim.jp>の商品ページをご確認ください。

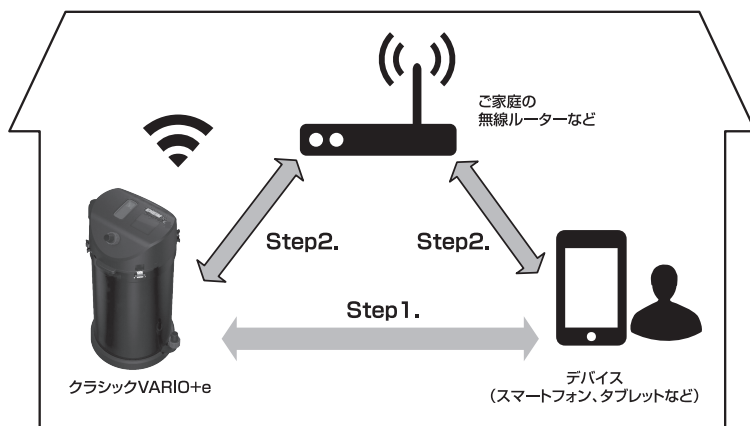
※以下の手順は、エーハイムデジタル機器を初めて使用する際の接続方法です。複数台使用する場合の、2台目以降の接続方法は、ここで説明している方法とは異なります。2台目以降の接続方法については、<https://www.eheim.jp>のエーハイムデジタル機器の商品ページにある画面操作マニュアルをご確認ください。

### Step1. 無線LANとデバイスを接続する

1. p8~p11を参考にフィルターを接続し、呼び水をおこなったのち、電源プラグをコンセントに差し込んで作動させます。
2. ポンプ本体のインジケータLEDが点灯します。  
・白色⇒青色に点滅: ネットワークの検索または作成中    ・青色に点灯: ネットワークの作成完了
3. インジケータLEDが青色に点灯したことを確認後、デバイス(スマートフォン、タブレット、PC等)ネットワーク設定画面(Wi-Fiの設定)を開くか、QRコード1を読み込みます。QRコード1を読み込んで接続した場合は、次の手順4.は不要ですので手順5.に進んでください。QRコードは本体のシールに記載されています。
4. Wi-Fiネットワークを、フィルターの無線ネットワーク #EHEIM classicVARIO\_XXXXXXXX (機体別識別番号)に切り替えます。本体シールに記載されているパスワードを入力して接続してください。
5. Wi-Fiが接続されたことを確認後(例: デバイスに無線LANマークが表示されるなど)、インターネットブラウザを開き、Webアドレス <http://192.168.1.1> を呼び出すか、QRコード2を読み込みます。

※インターネットには接続されておらず、予測検索は使えません。アドレスは正確に入力してください。  
※Wi-Fi設定直後は接続が不安定な場合があります。数分程度時間を置いて入力することをおすすめします。

※操作画面の詳細説明については<https://eheim.jp>より画面操作マニュアルをダウンロードしてください。



QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

### Step2. ご家庭の無線LAN経由で、フィルターの無線LANとデバイスを接続する

インターネット(ご家庭の無線LAN等)と接続することで、ソフトウェアのアップデートや本製品からのアラートEメールの受信が可能になります。

※Step1のみでインターネット(ご家庭の無線LAN(Wi-Fi))と接続せずにご使用いただくことも可能ですが、端末操作および機能が制限されるため、おすすめいたしません。  
※本製品とインターネットとの接続は無線LAN(Wi-Fi)に限ります。有線LANによる接続はできません。  
※外出先のWi-Fiなど、本体に接続した無線LAN以外のネットワークによる接続・操作はできません。

1. 前ページStep1.(1~5)の方法で、内蔵の無線LANとデバイスを接続し、登録、各種設定をおこなってください。
2. 操作画面上の「設定」アイコンから設定画面に進み、「ネットワーク」を選択し、ネットワーク設定を呼び出します。
3. 「使用可能なネットワークとの接続」>「ネットワークを検索」を選択します。
4. 接続したいWi-Fiネットワークを選択し、パスワードを入力して接続します。この時、2.4GHz帯のWi-Fiネットワークを選択しているかご確認ください。
5. 接続に成功すると最終画面下部に複数のURLが表示されます。後で必要になるURLのため、**必ずメモ・スクリーンショットなどで保存してください**。チェックボックスにチェックを入れ、「接続」ボタンを押してください。本体のインジケータLEDが青点灯になるまで待ってからブラウザをいったん閉じてください。デバイス(スマートフォン、タブレット等)の機種や設定によっては自動で画面が遷移する場合があります。その場合は画面を閉じる必要はありません。2回目以降の操作画面を開く方法については次項に記載した手順をご覧ください。
6. デバイスのネットワーク設定を開きます。  
Wi-Fiの接続先候補から#EHEIM classicVARIO\_XXXXXXXXが表示されなくなりますので、手順4.にて接続したネットワーク(ご家庭の無線LAN等)を選択してください。
7. 再度インターネットブラウザより、手順5で表示された1番目のURL <http://eheimdigital.local/> または2番目のURL <http://eheimdigital/>を入力します。これらのURLでも接続できない場合は、3番目のURL <http://192.168.1.1>を入力し、操作画面を開いてください。  
※お使いのデバイスのOSやブラウザによって接続できるURLが異なります  
※使用開始後にWi-Fiルーターの電源が切れた場合は、先のURLを入力しても操作画面が開けなくなる場合があります。その場合はネットワーク接続をリセットし、もう一度Step.1からやり直してください。

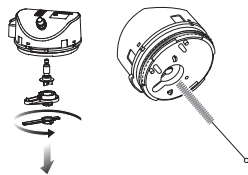
※接続手順がうまくいかずやり直したい場合や、外部ネットワークとの接続を解除したい場合は、タッチフィールド(インジケータLEDそばの長方形の枠内)に10~15秒間、指をのせてください。インジケータLEDが点滅し、ネットワーク接続がリセットされます。

# 日常の点検、手入れ

目づまりや汚れの付着により流量が低下しないよう定期的に掃除します。

(点検、お手入れは、水漏れに備えて、防水シートなどの上で作業してください。)

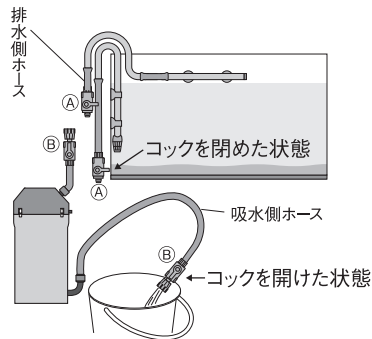
ホースやパイプの内側に、コケが多量に見られた時は、ホースクリーナーセット(4005570)、パイプクリーナー(4004551)で、ホース、パイプを掃除しましょう。特に光が当たる場所では、コケが発生しやすくなります。インペラー部分の掃除はろ材の掃除後も水流が目立って少ない時以外は必要ありませんが、水流が弱くなったときは、インペラー部分にゴミや藻類が付着している場合がありますので図のように分解し、掃除してください。掃除の後でモーターヘッドを取り付ける時はOリングが正しい位置かどうか確認してください。



エーハイムには、インペラー掃除用のインペラーブラシセット(4009560)があります。図の要領で掃除してください。

## フィルター掃除の手順

- 必ずコンセントから電源プラグを抜き、運転を停止させます。  
※この時、モーターヘッド側のDCプラグを抜いて停止させないでください。
- 両ダブルタップのcock (A、B計4ヶ所)を一度閉め、接続ナットを回して分離します。
- 排水側ホースのダブルタップBのcockを開け、次に吸水側ホースのダブルタップBのcockも開けてフィルターケースのフィルター内の水をぬいたのち(右図)モーターヘッドをはずし、ろ材を取り出して洗います。



※水槽の環境の急激な変化を避けるために、フィルター掃除と水換えは同時に行わないで下さい。水換えの目安は2週間おきに、フィルター掃除は水槽の状態により異なりますので汚れ具合をチェックして行います。

④掃除した後は、モーターヘッド側のDCジャックおよび電源アダプター側のDCプラグに水分が残っていない事を確認してください。

## ろ材、フィルターパッド交換の目安

粗目フィルターパッド(青)：約6ヶ月で交換

細目フィルターパッド(白)：約1ヶ月で交換

活性炭フィルターパッド(黒)：約2週間で破棄、にごりやニオイがとれない場合は新しいものと交換。

※いずれのろ材も、形が崩れたり、洗っても目詰まりが解消されない場合は交換してください。

**注意** モーターヘッド部とフィルターケース部の脱着は、必ずフィルターケース内の水をぬいてからおこなってください。ドライバーなどを使用してモーターヘッドをはずさないでください。

**注意** 設置時、フィルターケース内及び吸水ホース、排水ホース内に水が入っていないことを確認してください。

## 推奨ろ材

- エーハイム  
サブストラット  
1ℓ：2509061
- エーハイム  
サブストラットプロ  
1ℓ：2510061  
5ℓバケツ：2510761
- エーハイムメック  
1ℓ：2507061  
5ℓバケツ：2507761

## パッドの交換には

### エーハイムフィルター2213専用交換パッド

活性炭フィルターパッド	細目フィルターパッド	粗目フィルターパッド
3枚入	3枚入	2枚入
エーハイムコード 2628131	エーハイムコード 2616136 3枚入 2616136 6枚入 2213998	エーハイムコード 2616132

# アクセサリー表

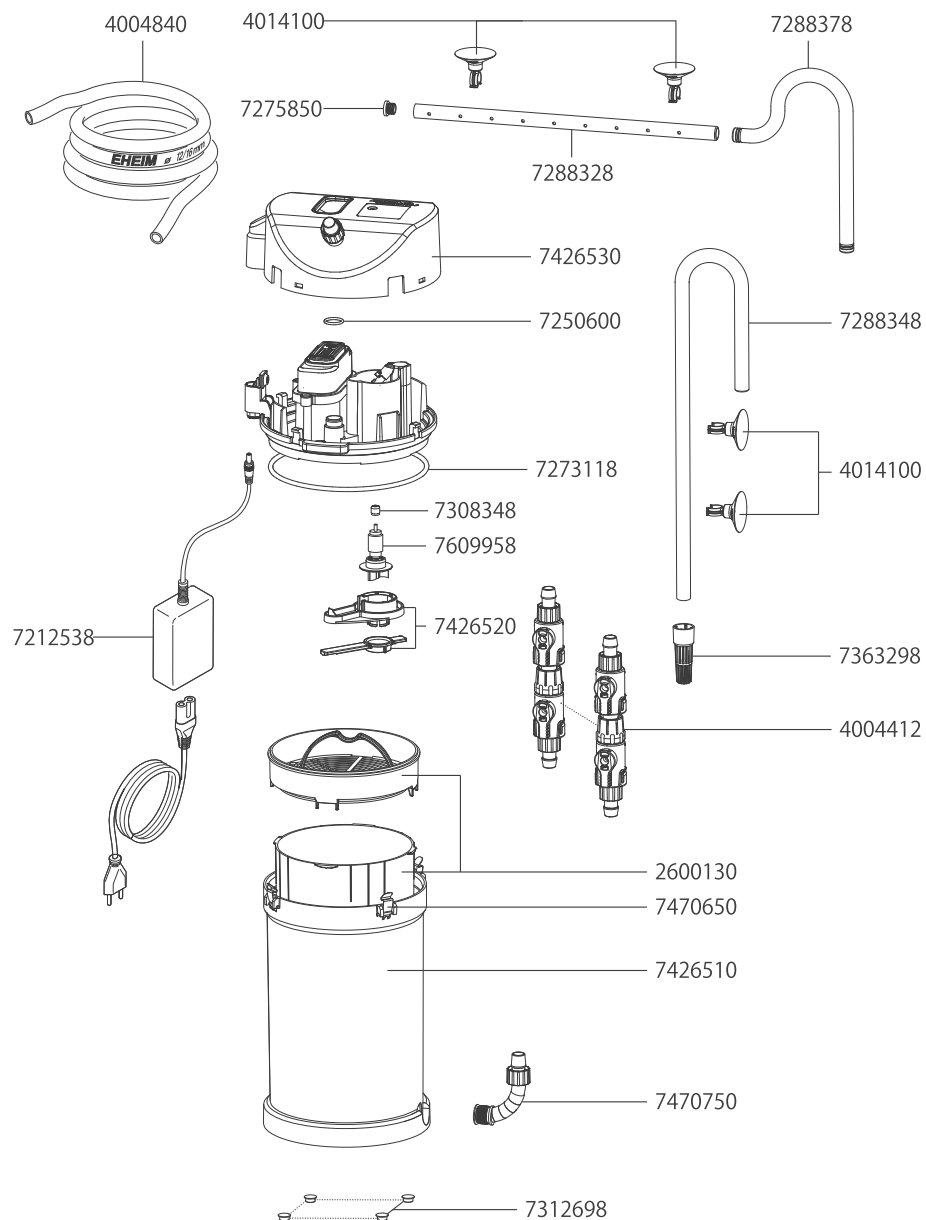
エーハイムには目的、用途に合わせて選べる豊富なアクセサリーが用意されています。お持ちのエーハイムフィルターの性能アップに、またフィルター掃除などの作業を簡単にするためにエーハイムアクセサリーをお使い下さい。詳しくはエーハイムホームページ(アクセサリー)をご参照下さい。https://www.eheim.jp/

ホース(1mにつき)(黒)	エーハイムコード	クリップ吸着盤(2ヶ入)	エーハイムコード	パイプクリーナー	エーハイムコード
	吸水側 4004840		吸水側 4014100		吸水側 4004551
	排水側 4004840		排水側 4014100		排水側 4004551
ホース(3m)(黒)	エーハイムコード	プラスチックパイプ(1m)	エーハイムコード	ホースクリーナーセット	エーハイムコード
	吸水側 4004849		吸水側 4004800		— 4005570
	排水側 4004849		排水側 4004800		
ダブルタップ	エーハイムコード	ジェットパイプ	エーハイムコード	インペラーブラシセット	エーハイムコード
	吸水側 4004412		排水側 4004700		— 4009560
	排水側 4004412				
タップ	エーハイムコード	オーバーフローパイプ	エーハイムコード	プレフィルター※	エーハイムコード
	吸水側 4004512		排水側 7288378		吸水側 4004321
	排水側 4004512				
エルボーコネクター	エーハイムコード	ディフューザー※	エーハイムコード	底面直結フィルター※	エーハイムコード
	吸水側 4014050		排水側 4004651		吸水側 3541000
	排水側 4014050				排水側 3541000
ホースケーシング(2ヶ入)	エーハイムコード	ホースバンド(2ヶ入)	エーハイムコード	底面オーバーフローフィルター※	エーハイムコード
	吸水側 4014300		吸水側 4004530		排水側 3540000
	排水側 4014300		排水側 4004530		
T-ジョイント	エーハイムコード	ネットバック(フリーサイズ)	エーハイムコード	エーハイムアーム	エーハイムコード
	吸水側 4004950		— 1550000		— 4004560
	排水側 4004950				
フレキシブル排水口	エーハイムコード	スポンジプレフィルター※	エーハイムコード	エーハイムワセリン	エーハイムコード
	排水側 4004600		1個入 2615271		— 7345988
			2個入 2615272		
		6個入 2615276			

※マニュアルモードでの使用推奨



## 主要部品図



## モーターヘッド部

エーハイムコード	品名
7426530	モーターヘッドカバー
7250600	モーター部Oリング (2個入)
7273118	フィルターケースOリング
7308348	ブッシングラバー (2個入)
7609958	インペラーユニット
7426520	インペラーケースカバー
7212538	電源アダプター (電源コードなし)

## フィルターケース部

エーハイムコード	品名
2600130	ろ材コンテナ
7426510	フィルターケース
7470650	フック
7470750	吸水口
7312698	クッションラバー

## 吸・排水部 すべて12/16mm

エーハイムコード	品名
4004840	ホース (黒) (1mにつき)
4004849	ホース (黒) (3m)
4014100	クリップ付吸着盤 (2個入)
7275850	止水栓 (2個入)
7288378	オーバーフローパイプ (黒)
7288328	シャワーパイプ (黒)
7288348	吸水パイプ (黒)
7363298	ストレーナー (黒)
4004412	ダブルタップ

## 故障かな?と思ったら

### ●作動しない

原因	処置方法
電源プラグがコンセントに接続されていない	電源プラグがコンセントに確実に接続されているか確認してください。
電源アダプターの不良 (アダプターのランプが消えている、点滅している)	新しい電源アダプターにお取替えてください。
電源コードが断線している	新しい電源アダプター、または市販の電源コードをお買い求めください。
吸排水を逆に接続している	P7を参考に正しく接続し、呼び水をやり直してください。
フィルターケース内に空気がたまっている	本体を軽く揺らして、残留している空気を抜いてください。
運転開始時の異常音を参照	—

### ●運転開始時の異常音

原因	処置方法
ダブルタップのcockが開いていない(うなるような音)	ダブルタップのcockを開きます。 ダブルタップで流量調節はしないでください。
呼び水が不十分なため、水が連続して流入していない (ジュルジュル、ガラガラといった音)	P10「呼び水」の項を参考に、呼び水を最初から正しくやり直してください。フィルター内に水が入っている場合、水を抜いてから呼び水をやり直してください。
モーターヘッド最上部が水面と同等、または高い位置にある (運転音の増大、ジュルジュル、ガラガラといった音)	モーターヘッド最上部が水槽より低い位置になるよう設置してください。
フィルター内部の空気残留 (ジュルジュル、ガラガラといった音)	本体を軽く揺らして、残留している空気を抜きます。
インペラーやラバーの破損もしくはラバーの紛失や装着不全 (ガラガラといった音)	P16「主要部品図」を参考に部品の交換をおこなってください。 インペラーやラバーは消耗品です。 故障に備えて、予備のパーツを用意することをおすすめします。

### ●連続運転中の異常音

原因	処置方法
10秒以上毎に1回「シャー」という音がして、排水パイプからエアが抜ける	バクテリアの呼吸や水草の光合成などによって生じた気泡がフィルター内にたまり、排出される音で、故障や異常ではありません。
インペラーやラバーに付着した水垢や汚れ、異物の噛み込みによる流量の低下 (運転音の増大、ガラガラといった音)	本製品は水冷式モーターで、汚れや目詰まりなどによる流量の低下は大敵です。定期的にインペラーやラバーや収納部(インペラー室)を掃除してください。
インペラーやラバーの破損や摩耗 (ガラガラといった音、運転音の増大)	P16「主要部品図」を参考に部品の交換をおこなってください。 インペラーとラバーは同時に交換することをおすすめします。
プレフィルターやスポンジプレフィルターの取付、またはろ材の目詰まりによる流量の低下 (うなるような音、インジケーターLEDの点滅)	プレフィルターやスポンジプレフィルターを取り付ける場合は、特に目詰まりによる流量低下に注意し定期的に掃除してください。

### ●流量低下

原因	処置方法
プレフィルターやスポンジプレフィルターの取付、またはろ材の目詰まりによる流量の低下 (うなるような音、インジケーターLEDの点滅)	ろ材の掃除や交換をおこなってください。P14「ろ材、フィルターパッド交換の目安」を参照してください。 飼育環境や飼育生体によって、交換時期は変動します。
ホースの折れ曲りや汚れ、ダブルタップの汚れ	ホースの折れはお湯につけて矯正し(P9参照)、ホースやダブルタップを掃除してください。

### ●水漏れ

原因	処置方法
Oリングのよじれ、装着不全、劣化	Oリングは正しく装着し、劣化している場合はP10「主要部品図」を参考に交換してください。
ホースの結合不全	ホースとパイプを正しく深く接続してください。ホースの切り口はまっすぐにし、各ナットはしっかり締めてください。
吸水口の締め不完全	P7「増し締め」を参考に、増し締めをおこない、経過を観察してください。締めすぎに注意してください。
本体の破損	破損箇所を確認し、部品を交換してください。

### ●デバイス(スマートフォン、タブレット、PC等)への無線LAN接続ができない

原因	処置方法
対応しているデバイスではない。	2.4GHz、無線LAN規格IEEE802.11b/g/nに対応したデバイスを使用してください。(P4参照)
設定したパスワードを忘れた。	タッチフィールド(インジケーターLEDそばの長方形の枠内)に指を10~15秒間のせ、無線LAN接続をリセットしてください。

### ●無線LAN接続できたが、ソフトウェア操作画面が開けない

原因	処置方法
WEBアドレス(URL)が間違っている。	URLの先頭から正確に入力してください。(P12参照)
機器間の通信ができないアクセスポイントを使用している。(Wi-Fiスポット、公衆無線LANサービスなど)	家庭用無線LANなど機器間の通信がおこなえるアクセスポイントを使用してください。
無線LANの電波が安定していない。	インジケーターLEDが青色に点灯した後、数分経過してから再度ブラウザを開きURLを入力してください。

※ソフトウェア操作およびインジケーターLEDの表示については <https://www.eheim.jp> よりご確認ください。  
 ※デバイスの操作や接続環境に関するご質問やお問い合わせについてはお答えできかねますのでご理解ください。  
 ※上記に該当しない場合は、エーハイム製品販売店または弊社カスタマーサポートにご相談ください。

### ご注意!

- 品質向上のため、予告なく使用を変更することがあります。
- 誤ったご使用方法に起因する損害につきましては責任を負いかねます。
- 飼育されている魚など生体の病気や死亡、水草の枯れに対する補償はいたしかねます。予めご了承下さいますようお願い申し上げます。